



令和7年 秋

病後児保育室の窓から No.3

楽田西子ども未来園 TEL/FAX 67-2761



病後児保育ってなに？

病気やケガの回復期のお子様を集団生活が送れるようになるまでケアをします。

病気やケガの回復期にあり、集団生活が困難な期間に「病後児保育室」で体調に合わせてゆったりと過ごし、無理なく体力を取り戻せるようにする保育です。
もう1日ゆっくり休ませたい。でも仕事を休むことが難しい。そんな時にもご利用ください。



どんな時に使える？



<一般症状の利用基準>

診断	病後児保育を利用する時の症状で受診し、診断が明確である。
体温	37.5℃未満 ・解熱剤の利用なしで熱が下がっている。 ・熱の上がり下がりがなく安定している。
食欲	水分補給が可能である。 普段の食事がほぼ摂れている。（少なくとも、普段の半分程度）
消化器症状	腹痛がなく、嘔吐・下痢もほぼ消失している。

「感染症って診断されたので園は休まないといけなかったけど……。病後児保育なら利用できますか？」 様々な感染症が流行った時に、お聞きする質問です。

病後児保育の感染性疾患の利用目安は、

<他児に感染するおそれのある感染期を経過して以降> となっています。

感染症に限らず、「こんな場合は利用できる？」など、分からないことは、お気軽に
楽田西子ども未来園 ☎0568-67-2761（9:00～17:00）にご連絡下さい。

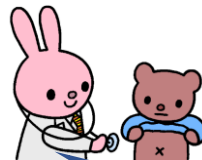
インフルエンザ

～ 感染力が強く、集団感染が起きやすい ～

例年、12月上旬から1月に流行が始まり、1～3月にかけて流行することが多いインフルエンザについてお伝えします。

<症状>

- ・突然の38℃以上の発熱
- ・だるさ 頭痛 関節痛 筋肉痛 などの全身症状
- ・のどの痛み 鼻水 咳 などの呼吸症状



このような症状がある場合は、
早めに受診しましょう

年齢が低いと、自分から「だるい」ことが伝えられず、
元気がない・機嫌が悪いといった状態が続くこともあります。

<予防>

・手洗い

感染予防の基本！石けんと流水でしっかり洗いましょう

・規則正しい生活

睡眠や栄養をしっかりととり、抵抗力を高めておくことで、発症を防ぐ効果があります。

・予防接種

予防接種をしても発症することはありますが、症状が軽くすむことが多いようです。

インフルエンザ予防接種



10月上旬頃からインフルエンザの予防接種が始まります。

子どもは、2回接種が必要です。2回目を接種してから2週間以上たたないと効果が現れないので、接種される方は、12月の流行期に入る前に済ませるようにしましょう。

アレルギーのあるお子さんの場合、受けられないこともあります。医師とよく相談しましょう。